



企画展

切出小刀

大工道具鍛冶が込めた想い

Kiridashi-Kogatana

Unique Artifacts of Carpentry Tools Blacksmiths

1 | チラシ表面

開催情報

名称	きりだしこがたな 切出小刀—大工道具鍛冶が込めた想い
会期	2022年3月5日(土)～5月8日(日)
会場	竹中大工道具館 1F ホール
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料	一般700円、大高生・65歳以上の方500円、中学生以下無料 ※常設展観覧料を含む
主催	竹中大工道具館
協力	朝倉彫塑館、木屋、銀座菊秀、酒ミュージアム(白鹿記念酒造博物館)、 佐藤金物店、松濤美術館、土田刃物店、西宮市
公式サイト	https://www.dougukan.jp/special_exhibition/kiridashi

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期や休館・イベント情報が変更となる可能性があります。

最新の情報は公式サイトをご確認ください。

開催趣旨

木の細かい細工などに使われる小型刃物の一つ「切出小刀」^{きりだしこがたな}。カッターナイフが普及する以前、大工仕事や竹細工、木彫をはじめ子供の工作から家庭用に至るまで、さまざまな用途で使われた身近な刃物でした。大工道具鍛冶にとって切出小刀は、鑿^{のみ}や鉋^{のかんな}のように厳密に決められた定形がないため、自らの自由な発想を盛り込むことのできる数少ない刃物といえます。今回は千代鶴是秀、石堂秀一、千代鶴太郎、長谷川幸三郎、宮野鉄之助など、用の美を極めた大工道具鍛冶の名工が手がけた切出小刀を一堂に展示します。匠の技と個性を垣間見ることができ、逸品の数々をぜひご覧ください。

展示構成

1 切出小刀とはなにか

切出小刀とはどのような刃物なのか、パネルと映像、実物で解説します。

<主な展示品>

- ・木工や竹工の職人が使う実用的な切出小刀と作品
- ・デザインを重視した切出小刀



2

2 〔大工道具鍛冶〕千代鶴是秀の切出小刀

実用品であった切出小刀を美術品レベルの刃物に昇華させた人物は、「不世出の鍛冶」といわれている千代鶴是秀（1874～1957）です。ここでは千代鶴是秀が手がけた数々の切出小刀を展示します。熟練した鍛冶技術で作り出される逸品ばかりです。



千代鶴是秀（ちよづるこれひで）
明治・大正・昭和を生きた大工道具鍛冶の名工。名門刀匠家の伝統も受け継ぎ、数々の傑作を生み出した。撮影：藤原正



3

3 受け継ぎし者たちの切出小刀

千代鶴是秀が切り開いたデザイン切出小刀は、次世代の鍛冶職に少なからず影響を及ぼしました。是秀に憧れて同じモチーフの切出小刀をつくる鍛冶もいれば、実用性を追求し刃物の切れ味にこだわる鍛冶もいます。ここでは名工と呼ばれる大工道具鍛冶個々がめざした切出小刀を紹介します。

4

2 | 切出小刀を使用している様子（木工）

3 | 千代鶴是秀作「自尊」

4 | 長谷川幸三郎作「直」

主な展示品

総点数約 60 点の切出小刀の数々を紹介



※イベントの日時・内容は変更になることがあります。
最新の情報は「切出小刀-大工道具鍛冶が込めた想い」展公式ウェブサイトにてご確認ください。

ワークショップ

切出小刀を作ろう

本職の指導のもと3日間にかけて「鍛接」「成形」「焼き入れ・焼き戻し・刃研ぎ」を行い、自分だけの切出小刀を製作します。



日時	2022年4月22日(金)・23日(土)・24日(日) [1]9:30～12:30、[2]13:30～16:30
場所	竹中大工道具館1Fテラスおよび地下2階木工室
講師	藤原保彦(鍛冶・藤原小刀製作所代表)、長池廣行
定員	各回とも15歳以上の方5名 ※必ず全3回参加できる方 ※自己責任での参加をご了解いただける方 (事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費	20,000円(全3回分、材料費・入館料込み)
申込締切	4月4日(月)必着

ウェブサイトまたは往復はがき下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブサイト

公式サイト(https://www.dougukan.jp/special_exhibition/kiridashi)内よりお申し込みください。

はがき

往信用裏面 ①イベント名(ご希望日時も)②参加者氏名(フリガナ)
③郵便番号・住所④電話番号⑤年齢⑥利き手

返信用表面 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
裏面は未記入のこと。

〔申込み先〕 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※はがき1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

貸出画像

- 3、5：個人蔵
- 4：土田刃物店蔵



1 | チラシ表面

2 | 切出小刀を使用している様子



3 | 千代鶴
是秀作「自尊」



4 | 長谷川
幸三郎作「直」



5 | 千代鶴是秀作「自尊」(箱入)



6 | メインビジュアル

当館のご案内



日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

アクセス



山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
 市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
 シティ・ループ「12 新神戸駅前 (2F)」下車徒歩約3分
 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

広報用画像

- 画像データ1～6 (JPEG) をご提供いたします。メールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- 画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- 掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

お問い合わせ

「切出小刀ー大工道具鍛冶が込めた想い」展広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713

E-mail：kiridashi@dougukan.jp

- 読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア（2枚）5組を提供することができます。
- その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。